

地元の魅力「方言について」 第一回

飯能に転居した当時は、地名や氏名で読めない言葉沢山ありました、原市場に住んでみると地名など聞きなれてしまい不自然に感じなくなりました。

東京にも読みにくい地名、言葉、方言など沢山あります、地名でみると日本橋馬喰町「ばくろちょう」御徒町「おかちまち」練馬区江古田では「えこだ」、中野区江古田では「えごた」、駒込「こまごめ」馬込「まごめ」牛込「うしごめ」上野広小路「うえのひろこうじ」音羽「おとわ」護国寺「ごこくじ」神楽坂「かぐらざか」など多種多様な地名がある。

それでは飯能の地名、特に原市場では曲竹「くせたけ」赤工「あかだぐみ」小久住「こくずみ」房ヶ谷戸「ぼうがやと」反境「たんざかい」尾長「おなが」などなど読みにくい地名が多くあり、歴史がきざまれた原市場の地名が多いように思える。諸説は専門家に任せることとして、今回は地元の魅力「方言について」資料を読み解いてみました。

お祖父さんお祖母さんが元気なころには、話されている言葉の内容が理解出来ず苦労した事を思い出し、飯能原市場の方言(標準語)については埼玉県の方言、秩父の方言など参考文献はありますが、資料は“民俗茶ばなし”及び“おらがほうの標準語”を検索させて頂き、聞いた言葉を思い出しながら拾い出してみました。

- ・にやあにやあ言葉 ⇒そうでにやあ
- ・おっペす
- ・こく ⇒なにこく
- ・おみやあ、にやあって、いったんべ ⇒お前 あなた ないと言ったろう
- ・おっそろしい⇒話の内容で驚いたりしたときの合いの手…おばあさんは良く使っていた
- ・はあー、へえー⇒ははあるほど
- ・あつさらしい ⇒驚の表現
- ・あんだかや ⇒そうですか
- ・あんべい
- ・あさっぱら ⇒早朝
- ・うんまい
- ・おしみやあ⇒おしまい
- ・おつかかる
- ・おつかねえ
- ・おっとばす ⇒追いとばす
- ・おらがほう、おらほう ⇒おれんち、家のほう
- ・くだらねえ ⇒無駄
- ・かけっこ
- ・かっちらかす ⇒散らかす
- ・こくな ⇒云うな・するな
- ・こっぱずかしい ⇒はずかしい
- ・くらっしええ
- ・こえてる ⇒太ってる
- ・こそっぺえ
- ・こっぱずかしい ⇒こはずかしい
- ・しまつああねえ ⇒非常識な
- ・しゃっこい ⇒冷たい
- ・だけんど ⇒だけれど
- ・だんべ ⇒だろう
- ・ちちんぶいぶい ⇒おまじない
- ・ちっちい、ちっちくせい ⇒小さい
- ・ちっとんべえ ⇒少し
- ・ちんぶんかんぶん ⇒意味不明
- ・つきやあ ⇒付き合い
- ・つんのめる
- ・てんこもり ⇒山もり
- ・てんでんばらばら
- ・とんちんかん ⇒合っていないこと
- ・とっぱぐれ、とりっぱぐれ ⇒取り損ない

次回に続く

次回はも方言を中心に洗い出してみます、皆さんも方言を思い出してください。

地元の魅力「方言について」 第二回

前回の方言の「ちんぶんかんぶん」、「とんちんかん」について辞書で検索してみました。語源由来では「ちんぶんかんぶん」、話している言葉や内容が全くわからないこと。話が通じないこと。漢字には「珍紛漢紛」のほか「珍糞漢糞」「陳奮翰奮」など多数ある。「ちんぶんかんぶん」国語辞書で珍紛漢紛とは。意味や解説、類語。〔名・形動〕「珍紛漢（ちんぶんかん）」と同じ。「一で何がいいたいのかわからない」。意味がよくわからなく諸説は色々あります”チンブンカンブン”となりました。

「とんちんかん」国語辞書で頓珍漢とは。意味や解説、類語。〔名・形動〕《鍛冶屋（かじや）の相槌（あいづち）の音を漢字を当てて表したもの。その打つ音がそろわないところから》1 物事のつじつまが合わないこと。見当違いであること。類似辞典では馬鹿ばかし・阿房臭い・目茶苦茶・不合理・荒唐・馬鹿臭い・目茶目茶・目茶・ムチャ・滅茶苦茶・阿房くさい、などつじつまが合わないこと、方言を調べるには大変だと理解。

方言の続きを拾い出してみました (資料、おらがほうの標準語")

- ・なんもかんも ⇒何もかも
- ・なあ ⇒呼びかけることば
- ・なあなあ ⇒納得づく
- ・なさけがわからんねえ ⇒理解に苦しむ
- ・にゃあ ⇒ない
- ・ぬくとい ⇒温かい
- ・ぬかす ⇒言う
- ・ねえ ⇒ない、否定
- ・ねえの ⇒ないの、ないです
- ・のっくむ ⇒飲み込む
- ・のっけ ⇒はじめ、最初
- ・のっぱる ⇒頑張る
- ・はじっこ ⇒物の先、へり、ふち
- ・はっとばす ⇒貼り飛ばす
- ・はええ ⇒早い
- ・はしごこい ⇒素早い、利口者
- ・はばってい ⇒幅ったい、窮屈な感じ
- ・びき、びけ ⇒びり、最後
- ・ひやっこい ⇒冷たい
- ・ひたあ ⇒人は
- ・ひったくる ⇒奪う
- ・ひっちらかす ⇒散らかす
- ・ひっぱがす ⇒剥がす
- ・ひとつきり ⇒一段落
- ・ひょうげる ⇒おどける、ふざける、おどける
- ・ひんむく ⇒剥ぐ
- ・ふんと ⇒本当
- ・ふけえ ⇒深い
- ・ふてえ ⇒ふとい
- ・ぶっこおす ⇒打ち壊す
- ・ぶに ⇒分、領域、権利
- ・へねくれ ⇒ひねくれ
- ・へらたく ⇒いろいろ、ごちゃごちゃ、一杯
- ・へずる ⇒分けて貰う
- ・へだら ⇒くだらず、無駄
- ・へでもねえ ⇒訳はない、簡単、何でもない
- ・へのかつぱ ⇒造作ないこと
- ・へのほ ⇒簡単
- ・ほきる ⇒伸びる
- ・ぼっこす ⇒打ち壊す
- ・ほうける ⇒伸び過ぎ、とうが立つ
- ・ぼっぽ ⇒ふところ
- ・ほだてる ⇒蒸し返す
- ・ほどっぽい ⇒程々
- ・ぼつとすんと ⇒もしかすると
- ・まつあお ⇒真っ青
- ・まつと ⇒もっとまさかや ⇒本当ですか、嘘でしょう
- ・めっけもん ⇒みつけものの、掘り出し物
- ・もってえねえ(にゃあ) ⇒もったいない、無駄
- ・まだるっこい ⇒手のろい、遅い
- ・やいな ⇒だね、ですね
- ・やっこい ⇒柔らかい

- ・やっぱ ⇒やはり ・やなこった ・よ ⇒ ね ・よんど ⇒余程、よくよく
- ・よか ⇒より、しか、あやまっちゃよか しょうがなかんべ。それよか 他になかんべ。
- ・ろくすっぽ ⇒ろくに、まともに ・わきやねえ ⇒訳がない ・んべ ⇒だろう、な

次回は「農業、川、草木、鳥・動物」など固有の方言を洗い出してみます。

例えば、こじっけ ぎっちょほい ⇒小綏鶲(コジュケイ)、もともとは中国原産で、狩猟鳥として放されたものが野生化して増えたのだそうです。鳴き声は「チョットコイ、チョットコイ」と聞こえるが、おらがほうの標準語(方言)では「ぎっちょほい」と聞こえているようです。やぶの中で生活するため、そのずんぐりとした姿を観察する機会少ないのです。